



# 長野県岡谷工業高等学校創立110周年 記念事業実現に向けたご寄付のお願い

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

母校・長野県岡谷工業高等学校は明治45年(1912)、隆盛を極めていた製糸業の技術者を養成するため、平野村(現岡谷市)が平野村立平野農蚕学校として創立しました。その後、平野蚕糸学校、諏訪蚕糸学校、岡谷工業学校と変遷。戦後の学制改革によって長野県岡谷工業高等学校となり今日に至っております。この間、「至誠一貫」「質実剛健」を校是にした学び舎からは、2万3千人を超える同窓生を輩出し、それぞれの立場で活躍していることは、周知の通りであります。

また、昭和5年に夏の甲子園で準優勝を遂げ、春夏合わせて5回、甲子園に出場している硬式野球部、たびたび全国大会に出場し名勝負を繰り広げている軟式野球部、総体、国体、春高合わせて全国制覇10回を誇るバレーボール部、花園出場30回を数えるラグビーフットボール部、インターハイで3連覇を遂げたスケート部など運動部の活躍は、日本のスポーツ史を彩ってきました。最近では、ものづくりコンテストやロボコン大会などでの活躍も目立ってきております。

母校は令和3年(2021)に創立110周年の節目の年を迎えます。現在、同窓会を中心に記念事業実施に向けた準備を進め、在校生にとって実りある事業を考えております。具体的には、年間を通じて運動部が強化を図れるようするため、合宿所整備を中心に計画しております。社会情勢が混とんとし、先行きが不透明となっておりますが、後輩たちの『夢の実現』のため、同窓生の皆様に力強いご支援(篤志寄付)をお願いしたいと思っております。

ご支援いただける同窓生の皆様にあっては、同封いたしました振込用紙をお使いいただき、1口3,000円以上をお願いしたいと思っております。なお、大口のご寄付の場合は、お手数ですが事務局(電話0266-24-0082、FAX 0266-24-3552)へご連絡いただければ幸いでございます。

令和2年7月

長野県岡谷工業高等学校  
創立110周年記念事業実行委員会

委員長 佐久秀幸  
(一般社団法人岡谷工業高等学校同窓会理事長)

# 110周年記念事業ご協力を下さい

今回の創立110周年記念事業の大きな柱は、母校の北東にある合宿所と同窓会館の浴室の改修工事です。合宿所は校舎改築工事に合わせ、昭和56年(1981) 年3月に建設されました。以来、運動部を中心に年間を通じて合宿が行われ、多くの選手を育ててきましたが、建設から40年間手を入れておらず、施設の老朽化が激しくなっています。特にトイレは狭い上に和式で、大人数での合宿時の問題点となっています。シャワー室(3人同時使用が可能) も傷みが目立っています。また、選手が寝起きする合宿室もサッシ1枚で、冷暖房の設備もなく、運動部員や指導者からも改善に向けた要望が出ています。このため、トイレを洋式に変えて衛生面を向上。シャワー室は、長年使用していない同窓会館の浴室を大幅改修し利用してもらうことを計画しています。同窓会館の浴室は、大きな選手でも6～8人が同時に使用できる広さです。また、夏休みなどに県内外の有力チームが岡谷工で強化合宿しており、同窓会館旧食堂を来校する他校に気持ちよく使って頂けるように、整備をしたいと思っています。

合宿所整備費  
**500万円**

同窓会館浴室整備費  
**500万円**

同窓会館旧食堂整備費  
**300万円**



▲シャワー室に代わって  
整備を予定する  
同窓会館の浴室



▲老朽化が目立つシャワー室



▲冷暖房設備がない合宿室



▲狭い上に和式で不評なトイレ